

Futaba S-FHSS送信機 - 150GRSフライトコントローラーのバインド時のチェック項目

このチェックシートは、お客様よりお問い合わせのある、バインド方法についての参考(ヒント)資料として作成しています。バインドが正常に行われない場合、以下の項目を再確認してください。

詳しくは、ヒロテックが提供しております、日本語の ①T-REX150X 取扱説明書 ②T-REX150X 150GRS設定要領書をご覧ください。

**■□ バインド前の送信機の設定チェック**

- 1 通信システムがS-FHSSになっていますか。
- 2 スワッシュタイプはH-1に設定されていますか。
- 3 サーボリバースはAIL/ELE/THR/RUD/GYRO/PITすべてノーマルに設定されていますか。

**■□ バインド前の150GRSコントローラーの設定チェック**

※150GRS設定用アプリを使います。タブレットまたはスマートフォンへのインストールが事前に必要です。

- ☆ 設定アプリ内の「送信機」の設定では、スロットルとピッチのみリバースをチェックマークしてください。エルロン、エレベーター、ラダー、飛行モードのリバースチェックは外したままにしてください。

- ☆ 上記設定は正しく保存されていますか。

アプリの設定メニューで設定した値は、アプリのホームポジションの「切断」操作で保存されます。

**■□ 150GRSコントローラーのバインドボタンの押し方**

- ☆ バインドボタンの押し時間が短いと、バインドが完成しない場合があります。バインドボタンは5秒程度長押しをしてください。

**■□ 接続したサーボ等の不具合**

- ☆ サーボモーターが故障していると、バインドが出来ない場合があります。サーボモーターに異常がないか確認をしてください

**■□ ブルーツースステータスLED(赤)とステータスLED(水色)が交互点滅するのでバインドが外れたと勘違いしていませんか。**

- ☆ 実際は送信機とバインドができていのに、150GRSのLEDが交互点滅表示される場合があります。
- ・設定アプリの「送信機」メニューで、送信機のスティック操作キャリブレーションが不完全だと、この症状が起こることがあります。
  - ・この場合、150GRS設定アプリを接続し、「送信機」メニューを開き、送信機のスティックを操作すると、送信機のスティック操作に対応したスライダーが追従して動き、バインド状態を確認できます。

※ 送信機のスロットルスティックが最スロー位置で、キャリブレーションを完成させていることが重要です。